



# いずみだより

いずみの苑  
25年目を迎  
えました



## 施設長より

いずみの苑は、特別養護老人ホームはじめ、短期入所、通所介護、ヘルパー派遣などの各種事業を運営するほか、蓮根地区のおとしより相談センターも併設している福祉施設です。いずみの苑、25周年を迎え、これまでも増して利用者や家族の皆さんの安心と、地域の方々から頼りにされる施設を目指す所存です。「いずみだより」が多くの皆さんとの繋がりを深める一助となれば幸いです。

いずみの苑 施設長 矢嶋吉雄



## 地域の皆さんとともに25年

いずみの苑が開所して25年目を迎えました。その間、地域の方々が施設をご利用いただくことはもとより、ボランティアの皆様の協力や災害時の応援体制の構築には近隣町会や地元企業の方々のお力をお借りして参りました。心より感謝申し上げます。地域の支えなしに施設は成立しません。今後恩返しも含め、私たちは地域へ更なる貢献をしていきたいと考えています。引き続きいずみの苑をよろしく願っています。

いずみの苑 次長 橋本賢一



10月25日(日)第13回いずみ祭を開催しました。今回は新型コロナウイルスの影響で例年とは違い、特養入居者のみの参加となりました。「鬼退治ゲーム」と「模擬店」を行いました。今年はあまり見られなかった入居者の皆さんの笑顔が絶えず、楽しい時間が過ごせました。どのような形でも開催しようという気持ちが実を結んだと思います。



いずみ祭開催

実行委員長

和田政宗

## いずみの苑ボランティア表彰式



宮崎圭子様

パステル画を教えていただいています。利用者様の中には絵が苦手な方が多くいらっしゃいますが、先生は優しく丁寧に教えてくださいます。完成した絵にもちょとしたアドバイスで見違えるような絵に仕上がり、利用者様は大変喜ばれています。7月と12月には季節にあったカード作りを行っています。今後ともよろしくお願いいたします。先生の素敵なお見本で職員も張り切って利用者様と作成しています。

小林喜代子様・石川幸江様

平成16年5月にぼらんていあ登録をされてから現在まで16年余り、美容師の資格を活かして、入居者へのヘアカットのボランティア活動をして下さっているお二人です。ヘルパー2級の資格も持ちのため、入居者の状態に応じて臨機応変に対応していただいています。これからもよろしくお願いいたします。



金倉房代様

毎年菊の花を施設に提供していただいています。1階のロビーに菊があるので季節を感じることができ、施設内がとても華やかになります。ご家族で写真を撮ったり菊を眺めて話をしたり、楽しませていただきました。また、ボランティアとしても平成12年から陶芸を教えてください施設に携わってくださっています。



# 楽しいひと時を過ごしました。



# いずみの苑より

## いずみの苑医長より



東京都の新型コロナ感染は、12月16日現在、第3波のただなかにあります。今回の流行は、65歳以上の高齢感染者の割合が多く、高齢者は原則入院となっている上、重症化率も高いので人工呼吸器、ECMO付きの重症管理増加による医療逼迫が始まっています。さらに冬には増加するであろう脳卒中や心筋梗塞等にも病院は対応しなくてはならないため、コロナに加えての診療体制の維持もかなり難しくなっているようです。では、高齢者の感染はどのようにして起こるのでしょうか。高齢者の感染経路は家庭内での感染が最も多く、次いで高齢者施設、病院となっていることから、若い世代が外で感染し、家庭や施設に持ち込むことで高齢者に感染している構造が考えられます。当苑ではこれまで、入居者様の状況に寄り添いながらも厳しい面会制限や業者の立ち入り制限をしてきましたが、しかし、どんなに厳しい水際対策を取ろうと、苑内で感染者が出てからでは遅く、被害が大きくなる可能性があります。そこで当苑では、都の予算により、無症状の段階でのPCR検査（新規入所者、通院、退院入所者、職員等に対し）を行い、発症前の陽性者を把握する試みを行っています。（無論、陽性者の中身は様々ですが、潜伏期に強い感染力を持つ場合もありますが、大変予防率の高い（95%）定期的なワクチンが許可待ちであり、ワクチンの安全性や管理法が確認され次第、現場に登場することとなるでしょう。それまでは、1人の感染者も出さないため、当苑では厳しい発症対策を行っていきます。

いずみの苑 常勤医 瓜生寛子

## いずみの苑地域貢献事業「コミュニティ弁当」＆「地域講座」

いずみの苑においては、地域の方にむけた介護や健康に関する講座（地域講座）を開催しておきました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大を受け、会場に地域の方を集めるのが困難となり、またこれまでに行ってきた地域貢献事業を中止せざるを得ない状況となり、地域の方とのつながりを途絶えさせてしまうことになりかねないという「今、できること！」をスローガンに2つの地域貢献事業を実施しました。

●「いずみの苑コミュニティ弁当」の配布・子育てをしているご家庭へ何らかの応援ができないか、といずみの苑で調理をしたお弁当を配布することとしました。いずみの苑の自慢の一つは、厨房で調理をしているおいしい食事です。その食事をお弁当として、まずは月に1回のペースで地域の小学生のお子様とそのご家族を対象に配布いたします。令和2年12月にスタートしたばかりの事業ですが、地域の方へのニーズの把握に努め、社会福祉施設として地域の方に喜んでいただけるよう取り組んでいきたいと思っております。

●「いずみの苑地域講座 自宅でできる！筋力アップ体操」の動画配信・新型コロナウイルス拡大を受け、外出自粛を余儀なくされた中高齢者の方より「以前より筋力が落ちた」「転びやすくなった」とのお話が多くありましたが、地域の高齢者の方が、安全な環境で筋力低下予防に取り組むことができないかと、これまでいずみの苑地域講座において講師をしていただいていた大東文化大学スポーツ・健康科学部教授 福島 斉先生に講話をお願いし、その内容を動画配信しています。

地域の高齢者の方が自宅で筋力アップに取り組むことができ、健康的な生活を送ることができるよう願っています。



## いずみの苑広報委員

岡本さわら	岡部秀輝
百塚佳鉦	濱端充代子
石井理絵	篠山真弓
加藤貴子	瀧川恵子

## 編集後記

いずみだより創刊号を最後までご覧いただきありがとうございます。この1年はコロナウイルスの影響で生活様式が変わり、介護の現場でも試行錯誤の1年でした。来年度はこの状況が落ち着き、穏やかな生活が戻ることを願っています。

最後に、広報誌を発行するにあたり、ご協力いただきました地域の方々、ありがとうございました。今後も皆様に喜んでいただける広報誌を発行してまいりますのでよろしくお願いいたします。